

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		非常時の際の2階利用者の避難誘導については、敷き布団を使用し、避難経路となっている階段を実際に使用して訓練してみたが、想定していたより勾配があったため、もっとより確実な方法を検討していく。	火災、災害時の緊急対応に対する職員の意識改革をする。避難等の際、地域住民から理解と協力を得られるよう、交流の場を多く設けていく。	地域座談会等の出席は、なるべく確実な方向へと結びつけていく。交流の場を通し、地域住民との信頼関係をより一層深く築き、協力体制を図っていく。	12ヶ月
2		外での散歩を通し、地域の皆さんとの挨拶等で馴染みの関係も築けるが、利用者自身が年々足腰の筋力低下により、難しくなっている方もいる。	地域に向けて、ホームの内容や行事等を紹介した「お便り広報」の発刊等を試みる。地域の方々に、ホームについてより深く知ってもらう。	「お便り広報」や地域座談会等のやりとりを通して、今迄以上の協力体制と信頼関係を構築していく。	12ヶ月
3		業務上、必要な研修に全職員が参加できていない。	より良いケアを目指していく為、職員同士の確実な報告・連絡・相談を実現していく。研修等には、いち早く情報を取り入れ、全職員の参加を促していく。	4月より毎月、月初めに利用者について、一人ずつケアカンファレンスを予定しており、常日頃の気づいた点や要望、意見等も取り入れる。毎月行うことで、全職員の参加、ケアについても良い方向性へ期待できる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。